

令和4年度事業報告書

認定 NPO 法人 Present Garden to

今年度の目標は「ペイフォワード (恩送り)」受けた恩をまわりに渡して行く・・・という内容ですが、福祉事業所において利用者は支援されるという生活が日常なのではないでしょうか。まずこの目標の意味を理解することが至難の業、そして行うことはもっと難しいことでした。

この目標が掲げられるということ自体が P G 活動の充実さを示すものではないかと考えます。それと同時に今年度は「24 節季 72 候」を大きな円に「一目で見える化」して、園芸、農園の活動を書き記しながら、季節の移り変わりともわりの状況に気付き、発見の多い一年でした。ようやくコロナが下火になったところで夏の終わりにアンクルンのレッスンの場でクラスターが起き全員が罹患、中には重症になる子もいて、懸命に対応しました。この事もあって皆のアンクルンに対する気持ちが低迷、そこで思い切ってクリスマスに発表会を催すことに致しました。まだ練習半ばでしたが 6 年ぶりの演奏を聴いていただきました。すると 1 月からのレッスンに勢いが出て来年の演奏会 (第 5 回) への弾みが付きました。

また今年度は久々に新入所者を迎えることとなり、10 人の先輩には衝撃の場面もありましたが、「自分も P G に入った時は・・・？」と振り返り、まさしくペイフォワードの実践の場よろしく忍耐し赦し仲間に入れて、今まさに育んでいるところです。

1. 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

NO.	事業名	事業内容	実施日時	実施場所	支援者の 予定人数	受益対象者の範 囲及び予定人数
1	障害福祉サービス事業	就労継続支援 B 型	5 日/週	法人施設	3 人/日	知的障害者 11 人/ 日
	事業内活動名	活動内容	実施日時	実施場所	支援者の 予定人数	受益対象者の範 囲及び予定人数
	障害者と市民との交流 活動	講習会、地域事業 との連携	1 回/月	南多聞台第 一・第二公園	利用者 10 名 職員 3 名	地域貢献
	里山維持管理活動	国営明石海峡公園の 里山維持管理活動	1 回/月	国営明石海峡 公園神戸地区	15 人/回	知的障害者 11 人/ 日
2	障害福祉サービス事業	共同生活援助	5 日/週	県営住宅	2~3 人/日	知的障害者 5 人/ 日
3	障害者によるアンクル ン・オーケストラ演奏 事業	障害者の音楽活動 支援活動	2 回/月	近隣集会所	8 人/回	障害者 21 人/回
		演奏活動とワーク ショップ	1 回	舞子ビラ	—	総計 55 名

2. 活動報告

特定非営利活動に関わる事業

・障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）

① 園芸プログラム

プレゼント・ガーデンの実習園庭にて基本的な園芸療法プログラム（種を蒔き、育苗して花を咲かせる）を行っています。園芸療法は花を育てながらメンバーひとりひとりの障害を含めた人格と向き合い、その精神的、身体的、社会的課題を乗り越えるためのプログラムを提供します。そして心身ともに、より健康で社会に貢献できるスタンスを持つことができるよう支援しています。1年間を1クルーと考えるなか、まず「1日の生活リズムを確立」→「春夏秋冬：季節の変化と園芸作業への適応」→「年間園芸活動の把握」これらの活動を繰り返しながら個々の人格的成長を積み重ねています。

今まで園芸活動をノートに書いたり、園芸12か月を紙で一つのロールにまとめたりしていましたが一目でパッと全体を見ることが出来ませんでした。24節季を皆で学ぶ中で模造紙4枚を貼り合わせ大きな円を描いて、今まで学んできた季節の変化や日照時間、肌で感じる季節などを土台に24節季72候を書き込みました。さらに一番外側に空欄を作成し、そこにPGの園芸活動イベント、自分達で感じる（見る）季節の変化等を5日間ずつ区切って書いていくことをスタート、白紙の部分が少しずつ書き埋められています。始めはただ二十四節季にPGでのどのような作業を、いつ、何をしたのかということを一目で解るように書き込んで行きましょう、という提案だったのが、何と今や、メンバーはもちろんスタッフも、保護者の方々までもこの二十四節季を知る中で、自発的に今の季節を感じそれにまつわる楽しみを分かち合っています。PGの園芸と共に活動していく中で、その凄さ、素晴らしさ、日本の四季のありがたさを学ぶこととなりました。

◆種蒔き 年二回

春

3月下旬～5月初旬
春の種蒔



5月中旬秋蒔苗採取
春蒔苗の定植
4月下旬～6月苗販売



7月下旬春蒔苗採取
夏秋苗の定植・植栽へ

秋

8月下旬～10月上旬
秋の種蒔



11月上旬夏秋苗採取
花壇の土再成
11月下旬～12月上
球根・秋蒔苗の定植・植栽



② その他の園芸プログラム

小寺農園 では、自ら育て、自ら食す。そして家族にも喜んでもらい、木曜日（活動日）の野菜のお土産を双方が喜び楽しみにしています。



コロナ禍の中でも小寺農園での作業はいつも解放感にあふれていました。例年同じように育てているつもりでも植物というのはなかなか同じようには育ちません。肥料やいろいろなやり方を毎年毎年チャレンジ・試行錯誤しながらその時に得ることができる実りに一喜一憂しています。メンバーも繰り返しの作業の中で学び吸収し、新しい一面を見せ、成長を感じさせてくれることがまだまだたくさんあります。

◆小寺農園 野菜作り

週一回木曜日

泉修

三浦ナーセリー

での土入れ作業は、速さ・正確さ連携等を身につけ、ペアでの作業、グループ全体としての動きを学ぶことができます。

園芸や役務作業、コロナ禍での活動や新しいメンバーとの過ごし方、色々な要因が重なって今年度は三浦ナーセリーでの活動を行うことができませんでした。来年度プログラムの在り方を見直しながら、三浦ナーセリーでの作業を検討していきたいと思っています。

◆三浦ナーセリー土入れ作業

週一回金曜日

三浦ナーセリー

東谷公園市民花壇オアシス

は、実習庭園に加えて地域の多くの方々に声をかけていただける一番の場所となっています。花を育てながら「ありがとう」「綺麗だね」と言ってもらえることができたり、「あの公園の綺麗な花壇はだれがやっているのだろう」という話を耳に挟むと誇らしく思え、地域・社会へのちょっとした貢献を感じることができます。

東谷公園市民花壇オアシスは長年継続して管理を行っていますが、いつも多くの方々に「綺麗」「ありがとう」「大変だね」と声をかけ続けていただけます。そこから市民の方々の会話が始まり、地域との交わりにつながっていることを強く感じています。若いスタッフにメンテナンスを託すようになり、思うようにいかないことに悩みながらも几帳面に向き合っている姿は、メンバーと共に作業の土台を支えてくれています。残念ながら花を荒らされたり、木の根が花壇の中一面にはびこっていたりと悩まされることもありましたが、みんなでやればなんとか上手くいくものです。また、景観のために掃除用具倉庫を建設事務所が移動してくれたことはより花壇が映える形となりました。要望が叶って嬉しい出来事の一つとなりました。



◆東谷公園市民花壇

週一回月曜日

③ ボランティア講師プログラム

継続して多くのボランティアの皆さまがプレゼントガーデンにプログラムを提供してくださっています。クリスマスにはボランティアの方々をお招きしてのクリスマス会を行うことができ、それぞれお会いすることのないボランティアの皆様同士の交わりの機会を持つことができ、とても良い時間となりました。

「身体の調整」の大福卓哉さんがお仕事の都合により、今年度で終了することになりました。柔道整復師の方にメンバー皆の身体の状態を見ていただけたのはとても貴重な体験となりました。関係を大切にしましてまた良い機会を持つことができることを願っています。

◆音楽療法	月一回第一火曜日	石川理子
◆グローイングハート	月一回第四火曜日	丹羽和子
◆スイミング	月一回火曜日	斉藤宏太郎<株ケイゾク>
◆3B体操	冬季三回(ｺｯ未実施)	坂元匡子他
◆美術教室	年六回	専門講師
◆薬膳	月一回水曜日	槇 晴美
◆身体の調整	月二回	大福卓哉
◆体操の時間	冬季週一回月曜日	各務芳彦



絵本の時間



音楽療法



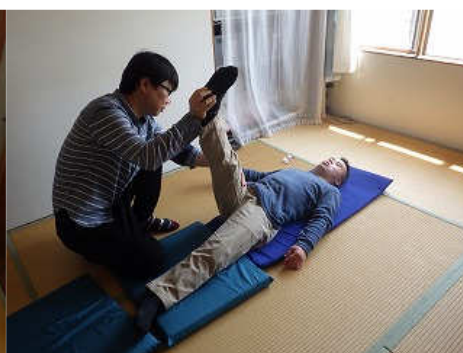
グローイングハート



美術教室



薬膳



身体の調整



体操の時間

④就労支援事業活動

- ◆花苗販売・植栽（園芸部門）
- ◆手芸活動（手芸部門）
- ◆軽作業等・役務（軽作業部門）

今年度の月額平均支給額は 10,666 円となりました。園芸作業、植栽作業を例年通りに行うことができおります。昨年度特に第4住宅の除草作業を請け負ったことから大幅な収入増があった分、また新しいメンバーが増えたことで今年は工賃が少なく感じられるかと思いますが、通常の「プレゼントガーデンペース」になったと言ってもよいと思います。メンバーが増えても 10,000 円を維持することができておりますので良い状態と考えています。コロナ等で耐える時間が多くあったものの、本来のペースで園芸を進め、ゆったりとした時間を過ごすこともできた年度であったと感じています。



④ 障害者と市民の交流活動



昨年度から始めた公園清掃、月に一回の清掃・除草作業をコンスタントに行うことができ、毎月のプログラムに安定して組み込むことができるようになりました。メンバーも作業内容をよく理解することができ、それぞれに自発的に動くことができるようになっていきます。

オアシスのように「この公園は誰が綺麗にしているのだろう」と言われるようになっていきたいと考えています。

地域公園清掃	月一回	南多聞台第一・第二公園
--------	-----	-------------

⑥里山管理活動

知的に障害を持つメンバーが林の中を歩くこと、竹林整備において竹を切り倒し、枝を取り、運搬するという作業が困難なく行えていることは作業を始めたころから考えると誰も予想できなかったことであり、大きな成果と言えます。これらを継続して行うことが重要であると考えています。

昨年度に引き続き新型コロナウイルスによる影響を受け、活動ができない月がありました。それでも昨年度よりも団体での活動が行いやすい社会的な雰囲気があり、自然の中で働ける喜びと気持ちよさを再確認することができました。

四ツ辻の竹林整備においては、以前整備した箇所である斜面に竹がまた茂り出し、再び竹林を間引きする必要があります。再び日の光が入り、見通しが良くなるように整備を行い、一定の成果を実感することが出来ています。現在、作業場所を池周りに変更し、鬱蒼とした竹林を整備し始めており、竹の伐採によって斜面が脆くなり、地滑りが起きないように配慮しながら整備を行っています。



藍那里山活動

月一回（年間 全9回）

辰巳憲一

⑦障害者の社会参画に関する普及啓発活動

今年度の実施はありませんでした。

園芸療法実践報告、
講演等の活動

なし

—

・ 障害福祉サービス事業（共同生活援助）

令和2年9月1日事業開始。定員5名の共同生活援助（グループホーム）「Present Garden tree」を明石市松が丘の県営住宅二部屋を賃貸して実施しています。誰もが住みたいと思えるような家になるよう内装・家具等を整え、「親なき後」の不安を持つ利用者とその保護者の皆さまのために事業を行っています。

Present Garden treeも三年目になりました。生活の中での細かい変化やその対応が刻一刻と必要とされますが、メンバーはとても柔軟に順応してくれています。スタッフの体制の安定がいつも課題となりますが、その時々スタッフがグループホームを支えるために懸命に力を注いでくれています。

設立時に最も大切にしたいことは「自分だったら住みたい」と思える空間にすること。今でもGHに行くと「ここは、いいなあ」と思うことができます。メンバーも思い思いに過ごし（ほとんどリビングで一緒にいることを好んでいますが）、笑顔でいてくれることは、良いものを作ることができたかなと少し感じることができています。良い福祉施設とは玄関を開けた瞬間に分かるそうです。玄関では分かりませんが、リビングに入ると温かい気持ちになるのは確かです。そしてもう一つはそこで働くスタッフも何か楽しみがあるということでした。これはまだ途上の目標ではありますが、どうしても過酷な夜勤という仕事、掃除洗濯食事作りというものは必ずしも楽しいことではありません。それでもそれぞれのスタッフが個性を持って仕事とメンバーとの人間関係に深い奉仕の精神を用いてくれています。最後は「何のために」そこに携わっているのかということが大切になります。言葉にできるような答えはありませんが、「理想のグループホーム」とはメンバーの理想、ご家族の理想、支援者の理想全てが良いバランスで織り合いながら求めていくものなのだろうと思います。できてよかった、やってよかったの安心感と達成感、ではこれからは・・・？の不安が入り混じっている現在ですが、とにかく理想を掲げて求め進み続けたいものです。



・ 障害者によるアンクルン・オーケストラ演奏事業



9月初旬、インドネシアより新しいアンクルンが到着しました。段々と使っていたアンクルンの音が悪くなり、演奏していてもどこかハーモニーに物足りなさが。そろそろ、そろそろと思いながら気がつくとも前の輸入から10年が経っていました。さあ輸入しようといってもインドネシアの製作会社 (Saung Angklung Udjo) の当時よくしてくれたスタッフ、日通の担当者も10年経てば変わってしまっています。加えてコロナで輸送関係が難しく、いつできるか何年かかるか分からないと言われてしまい、途方にくれてしまうところでした。それでも交渉を続けるうちにとんとん拍子に進んで上手いき、最初言っていたことと違うぞ？というのはインドネシア風でしょうか。ともかくもブランニューアンクルンが到着。その音の違いたるやゾクゾクとしてしまいます。多くの方々のご寄付の支援によって可能になったこと、深く感謝いたします。

その新しいアンクルンを携え、コロナ禍の心配もまだあったもののクリスマスに発表会を決行？しました。近くのホテルの宴会場を借りて演奏家に助けられながら20曲近い曲目を演奏、メンバーも珍しくガチガチに緊張した様子でしたが、カホーン演奏と共に心解放されて楽しくなり、久々のイベントを心行くまで食べて皆で堪能することができました。久しぶりにお会いした方々との語りもほんとうに楽しい時間でした。

ここ数年の低迷したメンバーの心はパッと明るくアップしてやる気満々、次の演奏会への希望が湧いてきました。やはり演奏の機会を閉ざされたこともその要因だったのかも知れません。なんとか催したこのクリスマスパーティー、大成功となりました。

◆ レッスン	月二回第二・第四土曜日	近隣集会所	北山紀子・石川理子 奥田幸果
◆ 演奏会・ワークショップ	クリスマス発表会 (12月25日)	舞子ビラホテル	出席者 55名

3. 事業実施体制

①会議に関する事項

◆通常総会

開催日 令和3年6月18日(土) 10:00~11:20

開催場所 法人第二作業棟ひだまり

出席者 21名(うち表決委任者9名) 正会員総数21名

第1号議案 令和3年度事業報告に関する件

第2号議案 令和3年年度決算に関する件

令和3年年度監査報告

第3号議案 令和4年度事業計画に関する件

第4号議案 令和4年度予算に関する件

◆理事会

令和4年度第一回理事会

開催日 令和4年6月1日(水) 14:00~14:30

出席者 理事5名(うち表決委任者3名)

議案 第1号議案 令和4年度通常総会に関する件

②事務局体制

◆事務長 高野ささぐ

③会員

◆正会員 21名